



オミクロン株対応ワクチンの早期接種のお願い

問 十和田市新型コロナワクチンコールセンター ☎51-3936

オミクロン株を主流とした新型コロナウイルス感染症は、現在も国内での感染者の発生が続いています。

オミクロン株対応ワクチンは、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果などが期待できますので、まだ接種していない人は、これからの受験や冬のイベントに向けてワクチン接種を検討しましょう。

※ワクチンの効果・安全性については、厚生労働省ホームページからご確認ください。



▲厚生労働省ホームページ
新型コロナワクチンQ&A

これから1・2回目接種を希望する12歳以上の人へ

1・2回目接種は従来型ワクチンを使用し2月以降も実施します。市内での実施場所は**十和田第一病院のみ**となりますので、希望する人はウェブ予約または市コールセンターに連絡してください。



すべてのひとが輝くまちの実現をめざして

問 総務課 ☎51-6702

男女共同参画

令和4年10月16日に開催した南コミュニティセンターまつりに「男女共同参画」ブースを出展しました

青森県男女共同参画センターの「男女共同参画」ブースを出展し、およそ50人の市民が参加しました。



小学生から80代以上まで幅広い世代の市民がクイズに参加

クイズ参加者のうち、65%が女性、29%が男性、6%がその他と答えた人でした。年代別では40代がおよそ28%と最も多く、次いで10代が22%と高い割合を占めるほか、80代以上の人もおよそ10%と、幅広い世代の人が参加しました。

また、男女共同参画に関するクイズ6問全問に正解した者は7人もいました。

会場では、小学生から「男女共同参画って何?」と聞かれたので、「『荷物を運ぶのは男の子』とか『お茶碗洗いは女の子』とか、性別で役割を決め付けたりせず、みんなで仲良く協力すること」と答えたところ「そんなの当たり前だよ」と心強い答えをもらいました。

本市では、大人も子どもも「当たり前のこと」を当たり前のように実践できる社会を目指し、取り組みを進めます。

◆クイズの答えは19ページ左下に記載しています。

参考：青森県男女共同参画センター
男女共同参画クイズに答えて、「しあわせ社会」について考えよう!



挑戦してみよう! 男女共同参画クイズ

当日出題されたクイズの問題を一部紹介します。



【日本の問題1】

令和4年10月1日から開始された、育休とは別に取得できるパパのための子育て新制度は?

- ① パパ・ママ育休
- ② 産後パパ育休

【日本の問題2】

大学や公的機関、企業等で研究に従事する男性研究者の78万3,300人に対して女性研究者は?

- ① 15万8,900人 (16.9%)
- ② 12万3,200人 (13.8%) (令和3年)

【青森県の問題】

本来の仕事や学業を持ちながら、災害時には消防署と連携した消火活動や住民の救助活動などを行ったり、平常時には火災予防の広報活動などを行う消防団員。県内の消防団員数17,591人中、女性団員の占める割合は?

- ① 3.0%
- ② 21.0% (令和3年)